

# 「振り返り」と「教師のコメント」で育成するメタ認知



「振り返りの5段階（A～E）」によって、振り返りに表れるメタ認知の様子を把握し、「コメントの視点」をもとにしながら教師のコメントを入れることによって、メタ認知の育成を図ります。

## 「振り返りの5段階（A～E）」



段階	内容		キーワード
E	事実	特定の問題の解決と感想や方略に関するメタ認知が記述されている段階	分かりました、難しかった、できました、知りました、今まで知らなかった
D	事実とその理由	特定の問題の解決と結果の理由について、他者を意識しながら、課題などに関するメタ認知が記述されている段階	～だから難しかった、～だから簡単だった、～だから間違ってしまった、～だから分かりやすかった
C	自分の意図	特定の問題に対する自己に関するメタ認知が記述されている段階	よくわすれるので～しようと思う、気をつけようと思う、注意しようと思う
B	他の場合	特定の問題から疑問や類推、一般化を図るメタ認知が記述されている段階	～もあるのかな、～もやってみたい、他にもないか調べてみたい、自分でも問題をつくってみたい
A	自分の学習 算数全体	より一般的な問題に対するメタ認知が記述されている段階	算数が好き、算数は新しいものをつくり出せると思う

## 「コメントの視点」



	内容	記述例
認める	児童の思いや考えを認め、受け止める	よくできたね、よくがんばったね、すばらしい
共感する	児童の思いや考え、成長に共感する	なるほど、そのとおりだね、～ということが分かったんだね
意識化	児童の考えの成功やつまずきの原因や要因を意識化させる	なぜうまくいったのかな、なぜ間違えたのか考えてみよう
方向性	次の活動の方向性を示したり、アドバイスを与えたりして、学習を広げさせる	こうやってみたらどうかな、ノートを振り返ってみよう、困った時はどうすればよかったかな
広める	友達の考えや他の考え方などを示し、考えを深めさせる	〇〇さんはこんな考え方をしていたよ、こういう考え方はどうだろう
深める	生活場面や学習したことをさらに深め、発展させる	今日学習した～はどんなことに使えそうかな、～を実際に使ってみよう

※ 参考文献 重松敬一 監修 (2013) 「算数の授業で『メタ認知』を育てよう」 日本文教出版